

令和2年3月26日(木)
国土交通省 関東地方整備局
大宮国道事務所

記者発表資料

R2狭山地区外交通安全対策工事において「間接工事費実績変更方式」を試行、「見積活用方式」「施工箇所が点在する積算方法」「難工事指定」を採用します

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2狭山地区外交通安全対策工事」は、国道16号の狭山市上奥富地先における交差点改良、国道16号、17号の浦和及び大宮出張所管内における事故対策や交差点交通安全対策を行うものです。標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されることから、以下の試行及び採用をします。

① 「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

② 「見積活用方式」

本工事は、市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

③ 「施工箇所が点在する積算方法」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

④ 「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局	大宮国道事務所	電話	048-669-1200 (代)
副所長 (技)	かしま 鹿島	ひであき 秀昭	(内線 205)
交通対策課長	さかい 酒井	よしあ 与志亜	(内線 471)

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R2狭山地区外交通安全対策工事
- (2) 工 事 場 所：さいたまけんさやましかみおくどみほか埼玉県狭山市上奥富他
- (3) 工 期：契約締結の翌日から令和3年2月28日まで（予定）
- (4) 入 札 方 式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価Ⅱ型）
- (5) 工 事 種 別：アスファルト舗装工事
- (6) 工事内容（概要）
 - 交差点改良
 - 切削オーバーレイ工 約3,100m²、透水性舗装工 約330m²、
 - 側溝工 約140m、縁石工 約150m、区画線工 約1,600m
 - 事故対策
 - 小型標識工 約20基、区画線工 約6,400m
 - 交差点交通安全対策
 - 透水性舗装工 約870m²、ブロック舗装工 約220m²、
 - 路側防護柵工 約90m、車止めポスト工 約250本

《間接工事費実績変更方式について》

- 実績により変更を行う工種
 - ・共通仮設費（率分）のうち、安全費及び運搬費
- 実績により変更を行う理由
 - 施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながらの施工、かつ、限られた狭隘な作業ヤード内での施工になることから作業効率が低下すること、また、沿道には店舗・住宅等が連坦し、施工箇所周辺に資機材置き場の確保が困難であり、その都度の資機材搬入が必要となる。
 - 以上のことから、安全費及び運搬費について、標準的な積算と乖離が想定されます。
 - 以上の点より、間接工事費実績変更方式の対象項目として「安全費」、「運搬費」を対象とします。

《見積活用方式について》

- 見積の提出を求める工種
 - ・直接工事費のうち、交差点交通安全対策に係るもの
- 見積の提出を求める理由
 - 本工事は、国道16号の狭山市上奥富地先における交差点改良、国道16号、17号の浦和及び大宮出張所管内における事故対策や交差点交通安全対策を行うものです。
 - 施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連坦し交通量も多い箇所です。
 - 施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入り、かつ、歩行者等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《施工箇所が点在する積算について》

- 施工箇所が点在する積算
 - 本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

《難工事指定について》

- 難工事指定
 - 本工事は、交通量が多い現道上での夜間作業、交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工になることから厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」指定を実施します。
 - 「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書 交付：令和 2年 3月27日（金）
- 競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限：令和 2年 4月21日（火）
- 競争参加資格確認資料、入札書・工事費内訳書 提出期限：令和 2年 5月22日（金）
- 開札日：令和 2年 5月27日（水）